

障害児通所支援事業所 Ra:SeeSar[放課後等デイサービス] 支援プログラム

作成日 2024年11月11日

法人理念

すべての人に寄り添い、あたたかい地域社会のカタチを創造します

支援方針

こどもの遊びや様々な活動を通して「心」と「からだ」の育ちに寄り添い、本人を中心にご家族の心身の健康を増進させ、学校や地域社会等でより心豊かな生活が送れることを目的としています。重度の障害や医療的ケアが必要であっても、その子らしい成長発達を促し、将来に渡ってもご家族と一緒に在宅生活を続けたいという希望に寄り添いながら、住み慣れた地域の中で自分達らしく生き抜く力をご家族含めて高められるよう支援します。

営業時間

平日：9時30分～18時30分
土・祝日：8時30分～17時30分

送迎実施の有無

有

無

本人支援の内容と5領域との関連性

本人支援	支援内容	活動の様子等
健康・生活	<p>[健康状態の維持・改善]</p> <ul style="list-style-type: none">来所時の体温測定や支援中の健康状態の観察等を行う。理学療法士等によるリハビリテーションを実施し、保有機能の維持・向上を図る。ヨガやリラレッチ（リラックス&ストレッチ）TIMEを定期的に取り入れ、可動域の維持・向上を図るとともに心身のリラックス効果を図る。 <p>[生活習慣や生活リズムの形成]</p> <ul style="list-style-type: none">来所時には絵カードを用い、当日の活動予定を確認する。睡眠時間の確保や排泄の定時誘導（交換）等により、健康状態の維持・改善に必要な基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。食前や外出から帰った時の手洗いや食後の歯磨き等を行い、病気の予防や口腔内機能の改善を図るとともに、保有する感覚が活用できるように支援する。 <p>[基本的な生活スキルの獲得]</p> <ul style="list-style-type: none">ランチ（おやつ）クッキング等を通して、作る楽しさや食べる喜びを感じ、「食」への関心を持つことができるように支援する。入浴支援の場面では、できる範囲で洗身動作等を促すよう支援する。お買い物体験を通して基本的な生活スキルの獲得を図る。ドアや玩具箱等に絵カードを貼付し構造の見える化を図り、分かりやすい空間や安心して生活できる環境を整える。	 <p>リハビリテーション</p>  <p>リラレッチ TIME</p>  <p>活動予定ボード</p>  <p>クッキング</p>  <p>お買い物</p>

本人支援	支援内容	活動の様子等
<p><u>健康・生活</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員4名体制による安全を最優先にした医療的ケア及び送迎支援を実施する。 ・適切な医療機器の設置及び使用の徹底を図る。 ・処置マニュアルや急変時対応マニュアル等を整備し、確実な対応が図れるよう支援する。 <p>[生活におけるマネジメントスキルの育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やりたい！」の思いやアイデアを十分に汲み取りながら、柔軟な活動の工夫や余暇時間の組み立てを支援する。 	 <p>分かりやすい空間づくり</p>  <p>充実した看護配置</p>
<p><u>運動・感覚</u></p>	<p>[姿勢と運動・動作の基本的技能の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションやリラレッチ TIME 等の活動で、上下肢運動動作の改善や拘縮予防を図る。 ・バランスボールやゆりもっく遊びを通して、平衡感覚やバランス感覚が養えるように支援する。 <p>[姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況により座位保持具の活用を検討・実施する。 <p>[身体の移動能力の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションメニューにおいて、アキレス腱ストレッチや股・膝・足の複合運動等を取り入れ実施する。 <p>[保有する感覚の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クッキングや片栗粉粘土遊び、砂遊び、どろんこ遊び、氷遊び体験等を通して保有する感覚が十分活用できるよう支援する。 ・ボールプール遊びを通して、ボールに触れる、ボールを掴む、投げる、蹴るなどの運動を行い、身体全体で感覚を味わえるように支援する。 ・音楽鑑賞やハンドベル演奏を通して、いろいろな音に触れ、音に親しむことができるように支援する。 <p>[感覚の補助及び代行手段の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事時等といった特定の場面で眼鏡等の補助機器を使用する場合は、ご家庭等と同様の支援を行い情報収集や状況把握がしやすくなるようにする。 <p>[感覚の特性への対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その原因を取り除いたり、離れたり、避けたりといったアプローチにより、どんな工夫をすれば過ごしやすいのかをご家族を踏まえ検討していく。 	 <p>ゆりもっく</p>  <p>バランスボール</p>  <p>視線入力装置</p>  <p>テープポケット</p>  <p>こいのぼり製作</p>
<p><u>認知・行動</u></p>	<p>[認知の特性についての理解と対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の場面でのお友だちの名前や今日の天気等の発表により認知の形成を図る。 ・タイマーを活用し時間に関する認知の形成を図る。 	

認知・行動

[対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得]

- ・絵本の読み聞かせやお出掛け、季節の行事等を通して季節を感じるとともに、季節の変化への興味などの感性の形成を図る。
- ・療育の内容によっては ICT 機器を用いた説明を行い、活動の流れを聴覚だけでなく、視覚や触覚等の感覚から情報が取得できるように支援する。

[行動障害への予防及び対応]

- ・他児とのトラブルを未然に防ぐため、側での見守りを徹底して行い行動の把握に努める。また行動障害に対しては、思いを受け止め行動の背景を考えながら対応し、言葉による思いの表出ができるような言葉がけを行う。

[コミュニケーションの基礎的能力の向上]

- ・うれしい気持ちや楽しい感じ、嫌な気持ちなどといった表情の小さなサインを見逃さない支援のあり方を職員間で共有する。
- ・表情の他に身振りや合図等を用いて支援を行う。
- ・視線入力装置の導入に向けた取組を継続していく。

[言語の受容と表出]

- ・朝の会や帰りの会での発言機会を確保することで相手の意図を理解し、自分の考えが伝えられるよう支援する。

[言語の形成と活用]

- ・絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、言語の獲得や聞く力の形成を図る。

[人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得]

- ・障害の特性や程度に応じて、対面的共同注意やこどもの目線に合わせた支持的共同注意、意図的共同注意等により目に注意が向く支援を行い、相互のコミュニケーションを図る。

[コミュニケーション手段の選択と活用]

- ・状況に応じて指差しや身振り、手振り、簡単な手話等を含めた最適なコミュニケーション手段を選択・活用する。

[状況に応じたコミュニケーション]

- ・表情から気持ちを読み取る活動や様々な場面を想定した活動の中で、状況に応じたコミュニケーションを学ぶ機会を確保する。

[読み書き能力の向上]

- ・障害の特性に応じ、プリントを用いた読み書き能力の向上につながる支援を行う。

[アタッチメントの形成と安定]

- ・ふれあい遊びやリラッチ TIME 等の活動を通して、他者との絆を深めることを経験し、アタッチメントの形成と安定を図る。
- ・餅つき会等の様々な活動及び行事を通して、親子で参加できる機会の確保を図る。

[情緒の安定]

- ・「やった～！できた～！」を大切に活動内容及び支援を行う中で、自己肯定感を高めていく。
- ・「快」、「不快」の細かな感情の表出について、注意深く確認を行っていく。

人間関係・ 社会性

人間関係・
社会性

[他者との関わり（人間関係）の形成]

- ・お友だちや大人との関わる機会等を十分に確保する。

[遊びを通じた社会性の促進]

- ・大人と一緒にやって行う場面を状況に応じて設定し、模範行動の支援を図る。
- ・お買い物遊びやおままごと遊びといったつもり遊び、ごっこ遊びを通して、他者との関わりを形成し徐々に社会性が育まれるよう支援する。
- ・だるまさんが転んだやモルック、ビンゴボッチャ等の役割のある遊びやルールのある遊びを通して、協同遊びへの支援を行っていく。

[自己の理解と行動の調整]

- ・苦手なことにもチャレンジしてみようと感じられる雰囲気作りや、一緒に取り組むことで自信を深めていけるような支援体制を図る。

[仲間づくりと集団への参加]

- ・お友だちが意識できるような場面設定や言葉がけを行うとともに、集団活動を展開することで互いの存在を意識し、認め合える関係づくりに繋がるよう支援する。

家族支援

- ・公式 LINE を用いた 24 時間体制での相談援助体制の整備。
- ・送迎時間の柔軟な変更等の預かりニーズへの対応。
- ・保護者会（ランチ＆茶話会）の開催。

移行支援

- ・進路や移行先の選択についての相談援助を行っていく。特に高等学校卒業におけるライフステージの切替えを見据えた移行について、十分な相談援助を行っていくとともに、当事業所として生活介護サービスの開設に向け情報収集及び計画準備を行う。
- ・同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくりを推進するため、地域の学校や地域住民との交流機会を図る。

地域支援
地域連携

- ・他事業所との交流機会の計画的な確保を行う。
- ・相談支援専門員との綿密な情報交換や情報共有を行う。
- ・児童発達支援センターで行うリハビリテーションへの訪問見学の実施。

職員の質
の向上

- ・初任者研修
- ・OJT 育成プログラム
- ・各種勉強会の開催（障害福祉サービスに係る報酬改定内容について、入浴支援について、児童発達支援ガイドライン、障害者差別解消法、報連相、移乗動作等）
- ・外部研修会への参加
- ・安全管理対策（避難訓練、防犯対策、AED 講習、ヒヤリハット・事故症例検討会、各種マニュアルの見直し等）
- ・感染対策（研修会及び訓練の実施等）
- ・業務改善活動（業務改善推進 WG の発足、業務改善提案制度）

主な行事

- ・視線入力装置体験会＆研修会 [できわかクリエイターズ様との共催]
- ・お餅つき会 [重心親の会様との共催]
- ・季節の行事・活動等（進級お祝い会、端午の節句、七夕会、ハロウィン祭、クリスマス会、初詣、ひな祭り会、卒業お祝い会、お誕生日会）